

二〇二四年度

群馬県立女子大学 文学部 国文学科

転入学及び編入学試験

「日本語学・日本文学・中国文学（漢文学）
及び日本語教育学」 試験問題

試験時間

11時00分～12時30分

問題一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

御息所みやすどころに女房としてお仕えしていた女はある貴族との恋に破れ、傷心のまましばし宮中から遠ざかっていた。

かかるほどに、御息所の御もとより、「やがて上りたまひね。宮仕みやつかへをせよとこそ思ひしか。君達きみたちをとやは言ひじ」と言ふも、死ぬべくはづかし。

さて上りて、つかうまつりあるくに、この男、文おこせつつ「逢あはむ」と言へども、聞きも入れであるに、この男の兄なる人、「今は、その男を男と頼みたまふか、あな幼わかな、我を思ひたまへ」など言へど、文ばかりをなむ通はしける。逢はざりけり。

かくいふほどに、もとの人もけしきを見聞きけり。女、里にて、前裁せんざいのをかしかりけるを、手すさびに尾花おしなを結びたりけるを、はじめの人の見て

花薄すさき我こそ深く頼みしかほに出でて人に結ばれにける

とて、「聞ききたることのあるはや」と言ひければ、「数かずならぬ身は、何かともかくもあらむ。同じうは」とて、うちとけたるけしきに言ふを、あはれと思ふ。されど、逢はでやりつ。

(『伊勢集』より)

注1 尾花 …… 薄。

問一 二重傍線部「やがて上りたまひね」を解答欄に書き写し、例にならつて品詞分解しなさい。

| | | | | | | | | |
|-------------------|----|-----|-------------------|----------------|---------------------|------------------------|----------------|------|
| 形容動詞・ナリ 活用・連用形 | 名詞 | 格助詞 | 動詞・ラ行四段 活用・未然形 | 助動詞・尊敬 ・連用形 | 補助動詞・ハ行四 段活用・終止形 | 助動詞・推量・連体 形(撥音便無表記) | 助動詞・伝聞 ・連体形 | 接続助詞 |
| にはかに | 宮 | へ | 渡ら | せ | たまふ | べか | なる | を |

問二 傍線部イ「今は、その男を男と頼みたまふか」を現代語訳しなさい。

問三 傍線部ア「死ぬべくはづかし」とは、誰のどのような心情か、説明しなさい。

問四 傍線部ウ「聞きたること」の内容を説明しなさい。

問五 傍線部エ「数ならぬ身は、何かともかくもあらむ。同じうは」とあるが、どういうことか。説明しなさい。

問題二

次の問に答えなさい。

問一 森鷗外の文学活動について、具体例を挙げて説明しなさい。

問二 転向文学について、具体例を挙げて説明しなさい。

問題三

次の各問いに答えなさい。

問一 万葉仮名について説明しなさい。

問二 母音交替について、その具体例をあげて説明しなさい。

問三 古典語における推量の助動詞について、その具体例をあげて説明しなさい。

問題四

明治二十二年八月、夏目漱石は房総旅行に出かけた。翌月、その漢文紀行を『木屑録』と名づけ、正岡子規へ送った。次の文章は、『木屑録』に対する子規の批評の一部である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

余知_三吾兄長_二于英文_一也久。而見_二吾兄漢文_一則始_二于此木屑録_一也。余与_二吾兄_一入_レ校也、共学_二馭舌草蟹文_一、而吾兄嶄然現_二頭角_一、話_二蛮語_一猶_二邦語_一然。余以為長_二于西_一者概短_二于東_一、吾兄亦当_レ不知_二和漢之学_一矣。而今及_レ見_二此詩文_一則知_二吾兄天稟之才_一矣。其能_二詩文_一者則其才之用耳。不_四必問_三文字之自他与_二学問之東西_一也。如_二吾兄_一者、千万年一人焉耳。而余幸得_レ接_二咳嗽_一、豈可_レ不_二敬而愛_一之哉。

【注】吾兄…夏目漱石を指す。子規と漱石は、同年齢で、第一高等中学校の同級生。馭舌草蟹…「馭舌」は意味不明の南蛮語。「草蟹」は、蟹行文。横書きの、ラテン語系文字。嶄然…目立ってすぐれているさま。

問一 傍線部(1)を現代語訳しなさい。

問二 傍線部(2)はどういう意味か。簡潔に答えなさい。

問三 傍線部(3)を書き下し文に改めなさい。(歴史的仮名遣い)

問四 傍線部(4)について、子規はなぜそう評価したのか。その理由を簡潔に答えなさい。

問五 傍線部(5)はどういう意味か。答えなさい。

問題五

次の各問いに答えなさい。

問一 中間言語について説明しなさい。

問二 ピア・ラーニングについて説明しなさい。